

ピアノ調律職種技能検定
学科試験実施要領

指定試験機関 一般社団法人 日本ピアノ調律師協会

1 試験の内容

- (1) 試験時間：60分
- (2) 問題数：50題(真偽問題 (A群) 25題、多肢択一問題 (B群) 25題)

級	B群の選択肢数
1級	5
2級	4
3級	3

- (3) 解答の方法
マークシート方式
- (4) 配点について
真偽問題 (A群) は1点、多肢択一問題 (B群) は3点 合計100点です。

2 注意事項

- (1) 試験途中での退場者の再入場は認められない。
- (2) 試験問題の表紙は、指示があるまで開けないこと。
- (3) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に受検番号、氏名を必ず記入すること。
- (4) 指示に従って、問題数と問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれていることを確かめること。
それらに異常がある場合は、黙って手を挙げること。
- (5) 試験開始の合図で始めること。
- (6) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)
 - ア A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答すること。
 - イ B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答すること。
二つ以上に解答した場合は誤答となる。
 - ウ 答案用紙へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従うこと。
 - エ 解答は、全てB又は2Bの鉛筆で記入すること。
- (7) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用出来ない。
- (8) 携帯電話等は、禁止する。
- (9) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げること。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問には答えられない。
- (10) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げさせて、係員の指示に従わせること。
- (11) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げ、係員の指示に従うこと。
- (12) 試験終了の合図があつたら、筆記用具を置き、係員の指示に従うこと。

3 試験当日に持参する物

- (1) 受検票 (学科)、写真票
- (2) B又は2Bの鉛筆、消しゴム他

4 問題用紙の持ち帰りと正答の公表

- (1) 問題用紙の持ち帰りは可能とする。
- (2) 正答は、一般社団法人 日本ピアノ調律師協会のHPで試験終了後、公表する。